

インターナショナルサイエンスキャンプINタイ タイ海外研修

2016年1月12日 発行

日 程:平成28年1月5日(火)～10日(日) (5泊6日)

場 所:タイ王国

バンコク市内の王宮, 泰日工業大学, 東レ, セントドミニク校, カセサート大学,
アユタヤ遺跡

参加者:本校生徒10名, 教員3名

目的:現地の高校生との交流や大学, 企業, 文化遺跡の見学を通して科学における国際性の養成をねらいとする。

日程

1月5日:学校18:00ー学園バスー関西空港発0:30

1月6日:バンコク着5:05ー王宮見学ー泰日工業大(TNI)
訪問・講義13:00～17:00

1月7日:セントドミニク高校訪問・交流9:00～13:00, カセサート大学Patcharaporn教授の研究室14:00～16:30 バンコクの水環境と課題について学ぶ

1月8日:東レ技術研究所見学10:00～12:00, ムアンボラン歴史文化研修14:00～16:30

1月9日:アユタヤ自然・文化研修10:00～16:30, スワンナプーム国際空港着19:00, BKK出発23:15

1月10日:関西空港着6:25ー学校着11:00 解散

【引率教員からの総評】

研修は、現地高校生との交流、大学訪問、講義、企業見学、文化遺産見学、探究活動(水質調査)からなる。現地の東レ科学技術研究所の見学が生徒からの非常に高い評価を得た。海外における日系企業の状況についての講演(中進国のわな)など、海外で仕事をする事への関心が高く現れた。文化歴史遺跡への関心も高く、異文化への理解が積極的であった。高校生の交流は、コミュニケーション力不足が否めず、効果を得るにはやや課題が残った。高校との交流や企業見学は泰日工業大学の支援により実現した。



写真1 「王宮見学」



写真2「セントドミニク校で実験」



写真3 「水質調査」

- ・研修内容の密度はすごく濃いもので、ちょっと自信にもなった。・歴史文化を知ったり水質調査をしたり、思っていた以上に楽しかった。もう一回行きたいと思った。・英語しか通じなかったので、一生懸命英語で話そうと自分で努力したところが良かった。・セントドミニク高校の人達にタイの水は汚れているということを説明するのが言いづらかった。より分かりやすく伝えられるように自分たちがしっかり理解することが必要だと思った。・カセサート大で水質浄化方法が学べてよかった。
- ・東レ見学では、日本人が実際に海外で働いている状況や技術開発の現状を知ることができた。